

2022年新春にあたり思うこと

1月11日の日経新聞朝刊に「人新世の資本論」の著者大阪市立大学准教授齋藤幸平氏のコラムが掲載されています。

これによりますと、各国の2030年時点の目標がすべて達成されても、21世紀末までに地球の気温上昇は2.4度になるそうです。そうなれば、海面上昇で沈む島国がでますし、山火事や巨大台風などの自然災害、水不足、食料危機、感染症のリスクが飛躍的に増大するそうです。それでも、先進各国が徹底的に気温上昇を抑える削減目標を掲げられないのは、経済成長とは両立不可能だからだという内容でした。私はこの文脈から、新春にあたり、次の2つの提言をしたいと思います。

(1) 近隣住宅や電力、鉄道などの公共交通、道路は、私たち市民のコモン（共有財産）という意識をもつことが重要ではないでしょうか。そしてこのコモン意識を高めることこそ、地域コミュニティの再生につながるのではないかと考えています。

現在、市内に7つのコミュニティセンターがありますが、地域内分権と思われるこの政策はここ50年間の日本の潮流にもなっています。とくにこの20年間は、市町村合併や少子高齢社会、市財政の困窮化などを背景にして、地域コミュニティの再生や市民参加、協働の重要性が再認識され、住民協議会の重要性がますます高まっているといえるでしょう。

地域内分権というコミュニティ政策は、全国で広がっていますが、住民協議会を核として、地縁団体、NPO法人などの各団体が協働で新しい公共を創造することが期待されています。

三鷹の場合は、「スクールコミュニティ構想」「学校三部制構想」など、新しい地域創造の動きもあります。スピード感をもって新しいコミュニティの創造に取り組みたいと思います。

(2) 2つ目は、少し夢のある話をさせていただきます。

三鷹市は、東京都に対して「多摩モノレールの誘致」を積極的に行うべきです。市内はモノレールを基軸に、バス、コミュニティバス、タクシー等の公共交通を一層充実させることによって、一方で積極的にマイカーの市内通過を規制していくべきではないでしょうか。

自転車にも優しいウォーカーブル(歩いて楽しい)なまちづくりです。モノレールの建設費や維持費が問題だと指摘するご意見も多々あるとは思いますが、今は大胆により環境と健康に配慮した政策を加速させる必要があるのではないのでしょうか。

皆さまからのご意見をお待ちしています。

- 三鷹市議会議員1期目、三鷹まち活塾（3期生）修了
東大まちづくり大学院修士課程に在籍
- 三鷹生まれ三鷹育ち、三鷹幼稚園、南浦小学校、三鷹一中（バスケット部）、都立国立高校（バスケット部）、横浜国大経済学部（ダンス部）
元東京海上日動火災社員、元ジャスダック上場企業執行役員、元PTA副会長
- まちづくり環境委員会委員、駅前再開発・市庁舎検討特別委員会副委員長、消防委員会委員、三鷹国際交流協会評議員など
- 趣味 水泳（毎日1Km）、ドラム演奏、社交ダンス

PROFILE



おばた和仁事務所

三鷹市上連雀6-4-1 ウェーブビル1階

おばた和仁連絡先

TEL.080-3046-0741

Male✉ smallflag@gmail.com



おばた和仁と三鷹を育てる会のご案内

明日の三鷹を育てるために、おばた和仁の「市民参加のまちづくり活動」を応援してくださる方を募集しています。

三鷹市在住の方を中心に、どなたでもご入会いただけます。入会金は年間 500 円です。

お気軽にご入会くださいますよう、よろしく願いいたします。

申込記入欄

氏名	
住所	
電話番号	
メールアドレス	

☆ご記入後、事務所 FAX0422-26-8635、または小幡メールアドレス smalflag@gmail.com に送ってくださると幸いです。

個別面談方式の個別相談会を事務所で実施しています。

コロナ禍により、定期的に行っていた市政報告会は現在中止していますが、個別面談方式の相談会は、以下の日時で原則、毎週実施しています。当方は、女性スタッフと 2 名でお待ちしていますので、事前予約の上、安心してお越しください。

毎週月曜日・火曜日・木曜日（最大 1 時間を目安に実施中）

午前 10 時～午後 14 時（事前予約をお願いします。）

場所 おばた和仁事務所 三鷹市上連雀 6-4-1 ウェーブビル 1 階

事務所電話 0422-26-8635

携帯電話 080-3046-0741（小幡までお電話ください）
